



浜っ子

発行 カトリック浜寺教会

高石市羽衣 2-2-27

TEL 072-261-1563

FAX 072-261-1594

2016年8月号 (2016.7.24 発行)

切符を買いましたか

シスター ルイザ ゴリ



6月中旬、ローマのサンピエトロ広場で車から巡礼者たちに挨拶をしていた教皇フランシスコは、突然、数人の子どもたちを自分の車に乗せたのです。そして、「切符を買いましたか」と冗談交じりに子どもたちにたずねました。子どもたちはいろいろと答えたりしながら、嬉しそうな顔で教皇さまとともに広場をひとめぐりしたのです。それはとてもほほえましい光景でした。

1. **よびかけ**。このような愛情といつくしみあふれる教皇フランシスコのエピソードはたくさんありますが、それは、単なるほほえましい光景だけではなく、わたしたちへの呼びかけでもあるように感じます。いつくしみ深い主イエスに従うわたしたちは、イエスのいつくしみの「しるし」となるように招かれています。「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」(ヨハネ、13,34-35)。言いかえれば、わたしたちが互いにゆるし合い、思いやりと忍耐といつくしみをもっているなら、それだけで十分に「福音宣教」なのです。ある意味で、欠かせない「活動」は、ただ一つ。「愛の行い」だけです。でも、弱いわたしたち、よく失敗しているわたしたちですので、いつも決意をあらたにして、神のゆるしと助けを求めながら、歩み続けられればいいのです。わたしたち皆がこのように歩んでいると、互いに力づけられるようになります。

2. **難民移住者**。6月12日のカトリック新聞に、教皇フランシスコが5月28日、バチカンで何百人もの子どもたちと会い、言葉を交わしたことについて短い記事があります。教皇が地中海で命を落とした移住者の一人が着けていたライフジャケットを手に、子どもたちに話している写真も有ります。わかりやすい言葉で、そして、命を落とした一人の子どものライフジャケットを見せながら、子どもたちに話しかける教皇の姿は感動的です。子どもだけでなく、わたしたち大人にとっても、そのライフジャケットを見ると、難民移住者がどれほど苦境に立っているかを実感でき、カリタスジャパンなどを通して、援助することや、祈ることにつながるきっかけにもなります。

3. **神は謙虚な心に甘い**。教皇フランシスコが6月1日、一般謁見のときに、つぎのことばを語りました。「神にはひとつ弱みがあります。神はへりくだる人には甘いところがあるのです。へりくだった心の前では、神はその心をすっかり開いてしまいます。」

その後、ファリサイ派の人と徴税人のたとえ話に触れて、「神さま、罪びとのわたしをあわれんでください」と言った徴税人について、教皇が次のように説明しました。「神のあわれみを願うこと。何も持たない手をさしだして、裸の心で、自らを罪びとと認めながら、徴税人はわたしたち全員に、神のゆるしを受けるのに必要な条件をしめしてくれているのです。」

教皇フランシスコのことばに力づけられて、自らの弱さを認め、互いにゆるし合い、ささえあい、祈りあいながらいつくしみの道を歩みつづけるようにしたいものです。いつくしみの母マリアを仰ぎ見て。